



夏のおてがみ 3年生 4年生

『たい焼き総選挙』

新井 けいこ/作
いちろう/絵
あかね書房



しゅくだい あそ ほん よ
宿題や遊びのあとは、ゆっくり本を読みませんか？
お気に入りの本を見つけてみてください。

『リコーダーがうまくなる』

表現力のきほんの「き」
富永 和音/監修
大月書店



おんがく しゅぎょう つか
音楽の授業で使うリコーダー。
じょうず えんそう になて
上手に演奏できる人も、少し苦手

な人も、この本で「きほん」を見てみましょう。たとえば、リコーダーの持ち方。あなをふさぐ指の位置はおぼえていますか？もし、よくないふさぎ方をしていたら正しい音が出ません。この本にはがくふがついていますので、本を読みながら演奏してみませんか？



たくと しょうてんがい まつまるどう や だいこうぶつ
拓都は、商店街にある松丸堂のたい焼きが大好き。
どうきゅうせい な お
松丸堂は、同級生の菜央のおばあちゃん、アユミさん
のお店だ。ある日、アユミさんがぎっくり腰になって
しまい、松丸堂は休業のピンチに。そこで、拓都たちは松丸堂のために働き出し、売りあげをのばすため、たい焼きの中身を投票する「たいやき総選挙」を開催する。



『チョコレートの王さま』

マイケル・レーベンサル/文
ラウラ・カタラン/絵
宮坂 宏美/訳
あかつき教育図書



みんなが大すきなチョコレートは、昔スペインがアメリカ大陸から材料のカカオを輸入し始めてから、少しずつヨーロッパに広がっていききました。この絵本では、フランスでどんな風にチョコレートがみんなに知られるようになったのか、ホットチョコレート売りのバンジャマンの家族が教えてください。

『人間は料理をする生きものだ』

森枝 卓士/文・写真
福音館書店



かわのついた肉を骨ごと食べるライオン、4つの胃で草を食べる牛、毒の葉を食べるコアラ、生き物はそれぞれの食べものをそのまま食べられる体を持っています。でも、人間はどれもまねできません。人間はそのままでは食べにくいもの、食べられないものに手間をかけることで、食べられるものに変えてきました。それが料理です。



『深海ロボット 海のふしぎを調べろ！』

山本 省三/作・絵
くもん出版



船から、ながいながいケーブルが伸びています。その先には、しかくい機械がありました。じょうぶなフレームでくみたてられた、深海でかつやくするロボット「かいこう」です。かいこうには、人は乗りません。海の上からそうさします。かいこうのほかにも、海でかつやくするロボットたちの仕事を見てください。



『最後のシロクマ』

夢内 明子/作
しろさめ/絵
金の星社



ふたばは、そうたとのオセロ勝負で1こ残った白い石を指さし「これ、ぜつめつすんぜんのシロクマみたい」と負けをごまかす。次の日、二人は図書館にあったなぞのカード『クラウンの部屋への行きかた』の指示にしたがうと、地図にのっていない特別な場所、地球のポケットにたどりつく。

『にているものどこがちがうの？』

2 のりもの・どうぐ』

柘原 礼土/監修

Gakken



人間は2つのものをくらべることで、はじめ
そこにあるちがいをみつけることができます。
電車と汽車、自どう車とでんき自どう車、
ひこうきとロケットなどよくにたものどうし
をくらべ、そのちがいをくわしく知ることが
できます。ちがうことはわかっているけど、きち
んと説明できない。そんなモヤモヤがふっとび
ます。



『くろい はまべ
アースデイのはじまり』
ショーナ&ジョン・スティス/文
マリベル・レチューガ/絵
武富 博子/訳
評論社



アメリカのサンタバーバラにすむ女の子、サムがある日、家にか
えると、おとうさんとおかあさんが「たいへんだよ」といいました。
海で事故がおこり、油がもれてしまったのです。様子を見にいった
サムの目にとびこんだのは、まっくろなはまべと海でした。サムた
ちは大すきなばしよを守るため、立ち上がります。

『駄菓子屋をまもれ！つくも神大作戦』

あんず ゆき/作

たごもり のりこ/絵

文溪堂



えっちゃんがひろったえんぴつには、つくも神
のぴっちゃんがついていました。えっちゃんのと
もだちのリカオやチュータも、ぴっちゃんとなか
よくしています。そんなある日、商店街でへんな
声が聞こえらうわさになりました。えっちゃん
たちは、声の主を探しに行きます。

『動物の義足やさん』

沢田 俊子/文

講談社



ニーナは保護された時から左のうしろ足がな
い犬です。そのことを飼い主が獣医師に相談する
と、動物の義足を作る島田さんのことを教えてく
れました。ニーナは義足を作ってもらったおかげ
で、元気にさんぽできるようになりました。島田さ
んは、ペンギンや合鴨など、いろいろな動物の義足
を作っています。

『魔女がやってきた！』

マーガレット・マーヒー/作

はた こうしろう/絵

尾崎 愛子/訳

徳間書店



みなさんが「魔女」と聞いてイメージするのはど
のような魔女ですか。やさしい魔女？いじわるな
魔女？それともおっちょこちょいの魔女？「魔女
のことなんて知らないよ」と思う子もいるかもし
れませんか。この本には5つの魔女のおはなしが
のっています。友達になってみたいと思う魔女に
てあ 出会えるかもしれませんよ。

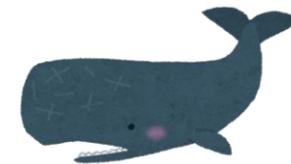
『クジラがしんだら』

江口 絵理/文

かわさき しゅんいち/絵

藤原 義弘/監修

童心社



日の光がとどかない、深くて暗い海の底にすむ
深海魚たちは、どうやって命をつないでいるの
でしょう？ある日、長い一生を終えたマッコウ
クジラがゆっくりと海の底にしずんできました。
そこへ生きものたちが集まってきます。肉を食べ
る魚、骨を食べる魚、骨に住む生きものまで、
クジラはたくさん命を支えていました。



『アンガスとあひる』

マージョリー・フラック/さく・え

瀬田 貞二/やく

福音館書店

1974年



アンガスは、なんでもしりたがるかし
こい犬です。いけがきのむこうからきこ
えてくる鳴き声が気になって仕方ありま
せん。ある日、入り口が開いていたので思
い切ってかきねをくぐりぬけました。
正体は、2羽のアヒルでした。アヒルを
おいかけていたアンガスは、ぶじに家に
帰れるでしょうか？

